

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	オハナビース入間		
○保護者評価実施期間	2025年01月27日		～ 2025年02月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29件	(回答者数) 27件
○従業者評価実施期間	2025年01月27日		～ 2025年02月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年03月15日		

## ○分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	隣接に就労支援事業所がありライフステージが変化しても環境を変えずにい移行する選択ができる。	保護者との連絡手段や情報共有を連絡アプリを導入する等、円滑なコミュニケーションが図れるよう取り組んでいる	地域や学校との連携を強化し児童に対して適した支援を提供できるよう積極的にコミュニケーションを取り、地域行事への参加を行っている。
2			
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学習支援は行いたい、宿題の対応になってしまう。		
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 オハナビース入間事業所

公表日 年月日

利用児童数 令和7年3月15日 29名

回収数 27件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	8	1	3	・人数や活動内容によっては狭いかもしれない、 ・少し狭い気もするが、仕方ない所。 ・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	5		7	・見る機会が無い為、分かりません。 ・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	4		4	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	20	4		3	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	3		2	・専門性は不明だが、工作や外出イベントなどバリエーションがあり、楽しそう。 ・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	3		1	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	2	1	1	・送迎の時間等、本人の負担にならないよう配慮していただきありがとうございます。 ・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	2	1	3	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	3		3	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	2		2	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	6	3	6	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26			1	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	3	1		・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	5	5	1	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	3	3		・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2	4	1	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2	1	1	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	8	5	5	・きょうだい向けのイベントがあったら、ぜひ参加したいです。 ・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3	1	2	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24		2	1	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26			1	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。	
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26			1	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	4	4	・訓練があるかは不明。 ・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	5	7	・訓練があるかは不明。 ・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	2	5	・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	3	2	・ケガ等していません。ありがとうございます。 ・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	4		・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	7		・家ではなかなか出来ない体験も出来るので楽しんでいる様子。 ・その日のプログラムの内容や本人の心の余裕次第で変わります。 ・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	3		・施設長や職員さんが退職された後の体制について、情報が無く不透明だが、ずっとサポートしてくれている職員さんが色々伝えて下さるので安心感がある。 ・いつもありがとうございます。 ・個人面談や見学会がないので分からない事が多い。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
オハナピース入間		年 月 日					
	チェック項目	はい		いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ	はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	4	・別室に分けて活動したり、スペースを確保出来るよう、余計なものは置かない。 ・学習の時や工作の時など、机の位置を変えて、少しでも活動しやすいよう工夫している。	・工夫をしても児童の活動を行うには狭い。 ・定員までの人数が居たり、雨の日など全員が室内活動をし、そこに職員も加わる事でより狭いと感じる。 ・人数が増えた時に1人ひとりのスペースがかなり少なくなっている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	・室内での見守りの職員の人数が少なくなるような隣の施設のアロハの職員にも入っていただいている。 ・送迎に出してしまうと、早い時間に来所された児童の見守りの職員の数が少なくなってしまう為、近い学校の児童を歩いてお迎えに行くなどし、多い人数で見守りが出来るよう行っている。	・児童により、下校時間が異なる為、全送迎が終わり、児童と職員が揃うまでの室内活動の職員の数が少なくなってしまう。 ・現状は、人手不足という事もあり職員配置が不適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	・狭い所は、利用者様同士がぶつからないよう、児童がそこを通る時は職員が付き添っている。 ・トイレの前にはトイレマークが貼ってあったり、のりやハサミなどの物も箱にイラストが貼ってあり、子ども達が1人でもわかりやすいものに配慮がされている。	・トイレの前の段差や、通路の狭さを考えると、もう少し広い方が良いと思う。 ・トイレ以外はバリアフリーになっていると思うが、車いすが狭そう。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	3	・普段、活動をする場所にはマットを敷き、危なくないような空間にはなっている。 ・掃除機での清掃や、マットの拭き掃除を行っている。	・衛生面に関しては、窓を開けての換気や消毒での清掃をもっと徹底して行うべきだと思う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	個別専用の部屋は無いが、パーテーションで仕切って個別の場所を確保できるようにしている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5	社内で業務改善を考える研修があり、各事業所職員の意見を取り入れ課題や改善に取り組み機会がある	・現段階では、目標設定や振り返りは行っていない為。 ・新たに入職した職員との目標決めや、情報共有などが出来ていない為。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	利用者全員から評価表いただけるよう、評価表の内容を職員が把握し未回答や未回収が無いようスケジュールを立てて社内で共有している。	課題項目を社内でも公表し改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	定期的な職員面談を行っており、会社代表も全職員と面談する機会があり直接職員の意見を把握し改善を実行している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・現段階では、第三者からの外部評価を行っていない為。 ・第三者からの評価を行っておらず、業務改善を行っていない為。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・月に1回、職員は必ず研修を受け、ワークショップなどを通じて、他事業所の意見なども取り入れている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムについての勉強会を定期的におこなっており、ホームページに掲載しブログやSNS等で活動を掲載している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			・子ども達や保護者の方のニーズを面談などから詳しくお聞きして、作成する。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	3	・現場にいる職員などが、見つけた課題などを会議で検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	3		・職員間で計画の共有が出来ていない事があり、計画を知らない児童がいる為、計画については全職員が情報を確認する意識と共有の工夫が必要。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2		・児童本人の支援は行っている事が多いが、家族支援や地域連携については、まだ行っていない為。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	4		・各自、計画について意見を出す、チーム全体の意見では無いように感じる。各職員が担当に任せるのではなく積極的に参加意思を持つ事が課題。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	・平日の利用では、なかなかプログラムを変えるのは難しいが、土曜日や祝日の日は、イベントなどを行っている。 ・プログラムのパターン化がされてしまっている所がある為、イベントを行ったり、歩行の中でも遊ぶ内容を変えたりし、工夫をしている。	・平日の利用は、学習をしておやつを食べ、歩行に出かけるか工作のパターンになってしまっている為。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	適宜状況に合わせて計画し、情報共有をおこない支援をしている。	支援内容について職員間での認識の相違がないよう情報共有に努めている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		5	当日の支援内容や送迎担当については連絡ボードや朝礼時に各自で確認できるようにしている。	・支援の内容について話す事はあるが、役割分担の確認は出来ない事が多い。 ・その日欠席者や、体験利用などの共有はしているが、誰がその担当になるかや、送迎の確認などの情報を積極的に発信できる人が必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	・支援後ではないが、次の日の朝礼などで共有出来るようにしている。 ・気になった点や、職員に共有しなければならない事に関しては、朝礼時や月に2回行われるミーティング時に話している。また、非常勤の職員にも伝えるよう、口頭での伝達を忘れないようにしている。	・気づいた点など連絡事項は連絡共有LINEや都度職員間で共有しているが、支援終了後の打合せは必ず行っていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	2	・連絡帳がアプリになったが、何日も休んだ児童や、トラブルがあった児童などに対しては、個別記録に残している。	・連絡帳アプリになった事で、記録として見返す事が少なくなっている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	3	課題点についての共有や対応についての見直しのmtgを設けている	・定期的なモニタリングの見直しを積極的に行う
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	児童が自発的に取り組める学習方法や作業内容を考え、できる自信を持つ事に繋がるを支援意識している	地域交流の機会の提供において外出先がパターン化してしまう事がある為地域行事などに積極的に参加していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	・自由に選択出来るわけではないが、いくつかの選択肢の中から選べるように工夫している。 ・集団活動をメインにしている為、基本的にはスケジュール通りを行うが、活動内での自己決定は出来る範囲で行うようにしている。	
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・実際に以前利用していた施設からお話を聞いた事は少ないが、保護者の方からお話をお聞きし、情報共有を行っている。	・現段階では、行っていない。
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・これから学校を卒業をする予定の児童がいる為、その引継ぎを今後はしていく。	・現段階では、行っていない。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		・1日利用の時は、児童館を利用している。また、夏の時期で暑さが厳しい時はよく利用している。	・活動の一環として、児童館を利用させてもらっているが、子どもとの交流は出来ない。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	2	保護者との面談時や送迎時に意向を確認する機会を設けている。	なかなか時間の都合が取れない保護者の方の場合、胃腔の確認に時間がかかってしまう。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1		・送迎時に相談を受けたり、お話しをさせていただく事はあるが、子育ての悩みなどに対する相談や面談は行ってない為、改善が必要だと感じる。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		・父母会や保護者会、きょうだい同士の交流をする機会がほとんどない為。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・イベントカレンダーなどの月の行事予定表をお渡ししている。	・イベントを毎週行っているが、HPやSNSなどを活用して宣伝などは出来ない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・鍵付きのロッカーに個人情報がかかれていたものは管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		・避難訓練などは行っているが、保護者の方への周知がまだ出来ていない。 ・決められた月に避難訓練を行っているが、どんな内容の避難訓練をしているのかや、実際どこに避難するのかを保護者の方に伝えておらず、不安に思われていると感じる。
	4	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・連絡帳アプリやお電話、メッセージにより事前にご連絡いただける場合は、必ずその日出勤している職員に周知している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・アセスメントシートに記入していただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	・ヒヤリハットが起こった時は、必ず報告し、共有している。また、報告書を作成し、なぜ起こったのか、再発が無いようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	4		・現段階では、身体拘束が必要な利用者が居ないと、放課後等デイサービス計画を周知出来ていない為。	